

2014年4月1日

関係各位

野村ホールディングス株式会社

コード番号8604

東証・名証第一部

2014年度野村グループ入社式、永井浩二グループCEO訓話要旨

野村が創業以来「決して変えてはならないもの」として大切にしてきたのは、「顧客と共に栄える」という経営理念です。この経営理念があるからこそ、多くのお客様から信頼され、長きにわたって社会で存在し得たのだと思います。この理念を行動規範に置き換えると、「すべてはお客様のために」ということになります。お客様のもとに足を運び、お客様の声に真摯に耳を傾け、どうしたらお客様のニーズにお応えできるのか、社員一人一人が真剣に考え行動に移す、ということです。皆さんも今日からこの「すべてはお客様のために」という野村の行動規範を決して忘れないでください。

証券業は、提供するサービスや商品が目に見えません。そのために、ビジネスの大前提となるのはお客様との信頼関係であり、社員一人ひとりがお客様から信頼される人間であるか、が極めて重要になってくるのです。専門知識や情報、サービスが他社との差別化の要因になるのは言うまでもありませんが、パーソナリティも付加価値となるというのが証券業のひとつの側面です。難しいですが、非常にやりがいのある、面白いビジネスです。皆さんには一日も早く、自分なりの価値観や人生観を確立してお客様から信頼される人間になれるよう、自分自身を磨いていっていただきたいと思いません。

最後に、私の好きな言葉を皆さんにご紹介したいと思います。「スマートで、目先が利いて几帳面、負けじ魂、これぞ船乗り。」この言葉は、野村にも通ずるところが多いと思います。「スマート」とは、外見や賢さだけでなく、一人の人間として信頼されるような価値観を確立していること、「目先が利いて」とは、証券業ですから情報に敏感なのはもちろん、それだけでなく常に高いテンションを維持していることです。「几帳面」は文字通りで、雑な人はビジネスで成功しません。そして「負けじ魂」、実はこれが一番大切で、人に負けたくないという気持ちではなく、どんな困難な局面においても投げ出すことなく、全力で最後までやりきろうとする気持ちのことです。「スマートで、目先が利いて几帳面、負けじ魂、これぞ野村マン、野村ウーマン。」この言葉を贈りまして、皆さんへのお祝いの挨拶といたします。

以上